

- がんに対する「偏見」の払拭や正しい理解につながるよう、民間団体や患者団体等と連携し、普及啓発に努めます。
- 小児・AYA世代のがん患者について、長期フォローアップや移行期支援など、成人診療科と連携した切れ目ない支援体制が構築できるよう、患者の健康管理の方法、地域における療養の在り方、再発・二次がん・併存疾患のフォローアップ体制等の医療・支援の在り方について検討します。
- 高齢のがん患者への支援を充実させるため、地域の医療機関やかかりつけ医、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関、関係団体、地方公共団体等と連携し、患者やその家族等の療養生活を支えるための体制を整備するとともに、地域における課題について検討します。

これらを支える基盤の整備

- 新たな治療法の開発が期待できるゲノム医療や免疫療法に関する研究の進展状況を把握し、更なる推進を図ります。
- 地域のがん医療や緩和ケア等を担う人材の育成及び配置について、拠点病院等や地域の職能団体が中心となって取り組みます。
- 学習指導要領に基づく、児童生徒の発達段階に応じたがん教育を推進します。その際、生活習慣が原因とならないがんもあることなど、がんに対する正しい知識が身に付くよう、医療従事者やがん患者等の外部講師の積極的な活用を行うとともに、ICTの活用を推進するなど、がん教育の取組みの充実を図ります。
- がん対策の充実に向けて、がん登録情報の利活用を推進する観点から、質の高い情報収集に資するがん登録の精度管理に取り組みます。
- がん患者及びがん経験者の参画の取組みに係る知見について、患者・市民参画に関する研究成果も踏まえ、各分野への横展開を行います。

数値目標

目標項目	指標	現状	令和11年度目標
がん罹患率の減少	年齢調整罹患率 (人口10万対)	357.7 (令和元年)	341.4 (令和8年)
がん死亡率の減少	75歳未満 年齢調整死亡率 (人口10万対)	61.3 (令和4年)	53.0 (令和10年)
がん生存率の向上	5年相対生存率	66.70% (2009-2011年)	69.50% (2018-2020年)

資料：がん罹患率 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)
 がん死亡率 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(人口動態統計)
 がん生存率 全国がん罹患モニタリング集計

<巻末データ>現状の把握【がん】

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	県計	*…数値が秘匿されているもの				単位	現状の分析
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
3	がん診療連携拠点病院等の数	成人	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	453	4					人	○全国を上回っている。
					0.4	0.5					(人口10万対)	
	小児	15			0					人	○県内に当該施設はない。	
		0.0			0.0					(人口10万対)		
4	放射線治療・薬物療法・リハビリテーション専門医が配置されている 拠点病院		専門医の認定状況（日本が ん治療認定医機構）	R4	18,089	115					人	○全国と同水準である。
					14.4	14.1					(人口10万対)	
5	認定看護師が配置されている拠点病院		専門看護師 分野別都道府 県別登録者数一覧（日本看 護協会）	R5	1,036	4					施設	○全国を下回っている。
					0.8	0.5					(人口10万対)	
6	専門・認定薬剤師が配置されている拠点病院		がん専門薬剤師認定者一覧 （日本医療薬学会）	R4	731	0					施設	○県内に当該施設はない。
					0.6	0.0					(人口10万対)	
7	緩和ケア研修修了者数		がん等における新たな緩和 ケア研修等事業	R3	404	78					人	○全国を上回っている。
					0.3	9.5					(人口10万対)	
8	がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対 応している拠点病院		がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	100	100					%	○全国と同水準である。
9	リンパ浮腫外来を設置している拠点病院		がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	259	2					施設	○全国と同水準である。
					0.2	0.2					(人口10万対)	
10	専門的疼痛治療を実施可能な 拠点病院	自施設で神経ブロックを実施できる拠 点病院等の数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	327	2					都道府県	○全国を下回っている。
					0.3	0.2					(人口10万対)	
		自施設で緩和的放射線治療を実施でき る拠点病院等の数			452	4					都道府県	○全国を上回っている。
					0.4	0.5					(人口10万対)	

<巻末データ>現状の把握【がん】

*…数値が秘匿されているもの

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	県計	現況の分析				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
11	緩和ケア病棟を有する医療機関数・病床数	医療施設調査 (厚生労働省)	R2	479	1	1	-	-	-	施設 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				0.4	0.1	0.2	-	-	-		
	病床数	9,498	15	15	-	-	-	-	床 (人口10万対)	○全国を下回っている。	
											7.5
12	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	診療報酬施設基準 (厚生労働省)	R4	12,980	67	41	15	2	9	施設 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				10.3	8.2	8.9	11.3	4.1	5.2		
13	専門医療機関連携薬局の認定数	厚生労働省	R4	135	0	-	-	-	-	施設 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				0.1	0.0	-	-	-	-		
14	相談員研修を受講した相談員の人数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	2,335	18	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○全国を上回っている。
				1.9	2.2	-	-	-	-		
15	両立支援コーディネーター研修修了者数	事業報告 (労働者安全機構)	R3	4,556	38	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○全国を上回っている。
				3.6	4.6	-	-	-	-		
16	アピアランスケア支援研修修了者数	合計	R4	1,776	5	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				1.4	0.6	-	-	-	-		
	基礎編	1,204	5	-	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○全国を下回っている。	
											1.0
	応用編	572	0	-	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○県内に当該事例はない。	
0.5											0.0

<巻末データ>現状の把握【がん】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	県計	*				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
17	がん検診受診率	国民生活基礎調査 (厚生労働省)	R元	33.5	39.9	-	-	-	-	%	○いずれのがん検診においても、全国を上回っている
				40.9	51.9	-	-	-	-	%	
				35.3	43.3	-	-	-	-	%	
				43.7	49.8	-	-	-	-	%	
				17.8	22.7	-	-	-	-	%	
18	精密検査受診率	地域保健・健康増進事業報告 (厚生労働省)	R元	83.3	82.3	-	-	-	-	%	○いずれのがん検診においても、全国を下回っている。
				93.9	64.1	-	-	-	-	%	
				72.5	69.8	-	-	-	-	%	
				85.3	83.0	-	-	-	-	%	
				89.3	84.0	-	-	-	-	%	
				74.6	60.2	-	-	-	-	%	

<巻末データ>現状の把握【がん】

*…数値が秘匿されているもの

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	県計	中北				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
19	精密検査によるがん発見率・偽陽性率	地域保健・健康増進事業報告 (厚生労働省)	R元	0.04	0.03	-	-	-	-	%	○いずれも全国を下回っている。
				0.21	0.08	-	-	-	-	%	
				0.12	0.07	-	-	-	-	%	
				0.03	0.03	-	-	-	-	%	
				0.3	0.2	-	-	-	-	%	
				0.02	0.01	-	-	-	-	%	
	胃(X線)がん偽陽性率	地域保健・健康増進事業報告 (厚生労働省)	R元	6.3	10.4	-	-	-	-	%	○胃(X線)がんは全国を上回っている。その他は全国を下回っている。
				6.9	2.3	-	-	-	-	%	
				5.9	5.6	-	-	-	-	%	
				1.6	1.4	-	-	-	-	%	
				6.3	3.7	-	-	-	-	%	
				2.4	1.7	-	-	-	-	%	
20	喫煙率	国民生活基礎調査 (厚生労働省)	R元	28.8	29.2	-	-	-	-	%	○全国を上回っている。
				8.8	7.6	-	-	-	-	%	○全国を下回っている。
21	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)		-	-	-	-	-	-	%	○国の提供データ不足のため現状把握不能。

<巻末データ>現状の把握【がん】

*…数値が秘匿されているもの

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	県計	現況の分析				単位	現況の分析
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
22	運動習慣のある者の割合	20歳以上（総数人数）	国民健康・栄養調査 （厚生労働省）	R元度	2,814	-	-	-	-	-	人	○国の提供データ不足のため現状把握 不能。
		20歳以上（総数割合）			100	-	-	-	-	-	%	
		20歳以上（有総数人数）			808	-	-	-	-	-	人	
		20歳以上（有総数割合）			28.7	-	-	-	-	-	%	
		20歳以上（無総数人数）			2,006	-	-	-	-	-	人	
		20歳以上（無総数割合）			71.3	-	-	-	-	-	%	
		20歳以上（男性人数）			1,218	-	-	-	-	-	人	
		20歳以上（男性割合）			100	-	-	-	-	-	%	
		20歳以上（有男性人数）			407	-	-	-	-	-	人	
		20歳以上（有男性割合）			33.4	-	-	-	-	-	%	
		20歳以上（無男性人数）			811	-	-	-	-	-	人	
		20歳以上（無男性割合）			66.6	-	-	-	-	-	%	
		20歳以上（女性人数）			1,596	-	-	-	-	-	人	
		20歳以上（女性割合）			100	-	-	-	-	-	%	
		20歳以上（有女性人数）			401	-	-	-	-	-	人	
		20歳以上（有女性割合）			25.1	-	-	-	-	-	%	
20歳以上（無女性人数）	1,195	-	-	-	-	-	人					
20歳以上（無女性割合）	74.9	-	-	-	-	-	%					
23	野菜と果物の摂取量	野菜	国民健康・栄養調査 （厚生労働省）	R元	269.8	-	-	-	-	-	mg	○国の提供データ不足のため現状把握 不能。
		果物			96.4	-	-	-	-	-		

<巻末データ>現状の把握【がん】

*…数値が秘匿されているもの

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	県計	現状の分析				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
24	食塩摂取量	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)	R元	1.2	-	-	-	-	-	mg	○国の提供データ不足のため現状把握不能。
25	適正体重を維持している者の割合	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)		-	-	-	-	-	-	%	○国の提供データ不足のため現状把握不能。
26	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	13,366,782	72,456	50,456	8,553	4,669	8,778	件	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				10,553.8	8,824.3					(人口10万対)	
27	外来化学療法の実施件数	医療施設調査 (厚生労働省)	R2	8,413	21	21	-	-	-	件	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				6.6	2.5					(人口10万対)	
	305,410			2,347	2,058	132	-	157	件	○県全体では、全国を上回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。	
	240.2			283.9					(人口10万対)		
28	悪性腫瘍手術の実施件数	医療施設調査 (厚生労働省)	R2	1,416	2	2	-	-	-	件	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				1.1	0.2					(人口10万対)	
	57,321			258	194	29	6	29	件	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。	
	45.1			31.2					(人口10万対)		
29	術中迅速病理組織標本の作製件数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	120,628	935	788	59	31	57	件	○県全体では、全国を上回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				95.2	113.9					(人口10万対)	
30	病理組織標本の作製件数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	1,866,991	9,771	7,603	877	268	1,023	件	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				1,474.1	1,190.0					(人口10万対)	
31	放射線治療の実施件数	医療施設調査 (厚生労働省)	R2	1,128	3	3	-	-	-	件	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				0.9	0.4					(人口10万対)	
	200,200			1,182	1,129	25	-	28	件	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。	
	157.5			143.0					(人口10万対)		

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	県計	*…数値が秘匿されているもの				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
32	がんリハビリテーションの実施件数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	418,897	1,454	1,000	336	40	78	件 (人口10万対)	○県全体では、全国を下回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				330.7	177.1						
33	緩和ケア外来の年間受診患者数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	225,897	1,247	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				179.4	152.8	-	-	-	-		
34	緩和ケアチームによる介入患者数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	98,632	923	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○全国を上回っている。
				78.3	113.1	-	-	-	-		
35	がん総合支援センターにおける相談件数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	895,048	3,002	-	-	-	-	件 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				710.8	367.7	-	-	-	-		
36	小児・AYA世代のがん患者の教育に関する相談件数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	2,499	-	-	-	-	-	件 (人口10万対)	○県内に当該施設はない。
				2.0	-	-	-	-	-		
37	就労に関する相談件数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	27,176	73	-	-	-	-	件 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				21.6	8.9	-	-	-	-		
38	アピアランスケアの相談件数	がん診療連携拠点病院等の 現況報告書	R4	84,048	418	-	-	-	-	件 (人口10万対)	○全国を下回っている。
				66.7	51.2	-	-	-	-		
39	長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	長期療養者就職支援事業報 告	R3	1,896	13	-	-	-	-	人 (人口10万対)	○全国と同水準である。
				1.5	1.6	-	-	-	-		
40	在宅がん総合診療科の算定件数	NDB ナショナルデータベース (厚生労働省)	R3	16,247	120	91	0	0	29	件 (人口10万対)	○県全体では、全国を上回っている。 ○圏域別は、拠点病院等の配置が異なるため、単純比較できない。
				12.8	14.6	19.7			16.3		

<巻末データ>現状の把握【がん】

*…数値が秘匿されているもの

No.	指標名		調査名等	調査年	全国	県計	単位				現状の分析	
							中北	峡東	峡南	富士・東部		
41	セカンドオピニオンの提示件数	算定件数	がん診療連携拠点病院等の現況報告書	R4	34,957	103	-	-	-	-	件	○全国を下回っている。
					27.8	12.6	-	-	-	-	(人口10万対)	
	1拠点病院あたりの平均数	77.2			25.8	-	-	-	-	件	○全国を上回っている。	
		0.1			3.2	-	-	-	-	(人口10万対)		
42	がん種別年齢調整死亡率	75歳未満（全部位）	人口動態統計（厚生労働省）	R3	67.4	63.2	-	-	-	-	人口10万対	○全部位では、全国を下回っている。 ○部位別では、胃など多くの部位で全国を下回っているが、大腸など全国を上回る部位もある。
		75歳未満（食道）			2.4	3.3	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（胃）			6.6	5.0	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（肝及び肝内胆管）			3.7	3.5	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（胆のう及び他の胆道）			2.0	2.2	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（膵）			7.0	6.0	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（気管、気管支及び肺）			11.9	10.1	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（乳房（女性のみ））			9.9	9.0	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（子宮）			4.9	3.9	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（卵巣）			3.6	2.6	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（前立腺）			2.1	2.0	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（膀胱の悪性新生物）			0.9	1.4	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（悪性リンパ腫）			1.9	1.5	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（白血病）			2.0	2.1	-	-	-	-	人口10万対	
		75歳未満（大腸）			9.6	10.6	-	-	-	-	人口10万対	

<巻末データ>現状の把握【がん】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	県計	*…数値が秘匿されているもの				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
43	がん種別年齢調整罹患率	全国がん登録	R元	451.9	419.0	-	-	-	-	人口10万対	○全部位では、全国を下回っている。 ○多くの部位で全国を下回っているか 同水準である。
				10.1	9.2	-	-	-	-	人口10万対	
				11.1	11.3	-	-	-	-	人口10万対	
				41.6	32.0	-	-	-	-	人口10万対	
				49.7	43.9	-	-	-	-	人口10万対	
				27.4	24.3	-	-	-	-	人口10万対	
				12.0	12.5	-	-	-	-	人口10万対	
				6.1	5.4	-	-	-	-	人口10万対	
				14.6	14.0	-	-	-	-	人口10万対	
				1.8	1.6	-	-	-	-	人口10万対	
				43.7	38.3	-	-	-	-	人口10万対	
				9.9	7.4	-	-	-	-	人口10万対	
				115.9	117.1	-	-	-	-	人口10万対	
				78.9	77.0	-	-	-	-	人口10万対	
				58.5	55.8	-	-	-	-	人口10万対	
				20.2	21.1	-	-	-	-	人口10万対	
				15.7	11.9	-	-	-	-	人口10万対	
				68.2	73.8	-	-	-	-	人口10万対	
				14.4	14.8	-	-	-	-	人口10万対	
				11.9	11.0	-	-	-	-	人口10万対	
				3.3	2.9	-	-	-	-	人口10万対	
				11.3	10.4	-	-	-	-	人口10万対	
				15.9	16.5	-	-	-	-	人口10万対	
2.6	2.6	-	-	-	-	人口10万対					
7.2	5.2	-	-	-	-	人口10万対					
77.1	68.2	-	-	-	-	人口10万対					

＜巻末データ＞現状の把握【がん】

No.	指標名	調査名等	調査年	全国	県計	*…数値が秘匿されているもの				単位	現状の分析
						中北	峡東	峡南	富士・東部		
44	がん患者の在宅死亡割合	肝及び肝内胆管の悪性新生物 人口動態調査 (厚生労働省)	R3	26.0	27.3	-	-	-	-	%	○全国を上回っている。
				24.0	20.2	-	-	-	-	%	○全国を下回っている。
				28.4	27.5	-	-	-	-	%	○全国を下回っている。
				31.9	20.2	-	-	-	-	%	○全国を下回っている。
				27.0	25.0	-	-	-	-	%	○全国を下回っている。
				28.6	26.1	-	-	-	-	%	○全国を下回っている。